

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		義肢装具学		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限		前期	教室名	義肢装具加工室
担 当 教 員		小田原安成	実務経験とその関連資格	(義肢装具士)京大病院、静岡県島田市民病院、京都府南山城養護学校で営業、義肢装具の採型と製作を行っていた。				
《授業科目における学習内容》								
骨関節疾患、脳神経などによる運動機能障害の症状を理解することにより、装具の選択・療法が出来るようになる。 義肢装具の適合についてのチェックアウトの方法が出来るようになる。 疾患・障害に適応する義肢装具、歩行補助具の種類、部品、機能を学習する。 臨床における義肢装具の適合、チェックアウトの方法を学習する。								
《成績評価の方法と基準》								
出席(1欠席はマイナス1点)試験など総合的評価する。								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
教科書:石川朗「15レクチャーシリーズ装具学」「15レクチャーシリーズ義肢学」 中山書店。 必要な資料は配布する。								
《授業外における学習方法》								
プロジェクター、パーソナルコンピューター、スクリーン、とサンプルを使用し、学習を行う。								
《履修に当たっての留意点》								
事前学習と復習することで理解を深める。								
授業の方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	装具の採型応報の基本となる装具の目的や分類、3点固定の原理、製作の流れを理解できる。 下肢装具を構成する各関節の継手や足部などの名称、構造、機能について理解ができる。			15レクチャーシリーズ装具学 配布資料	事前学習 シラバスを読む。 装具学レクチャー1,2の予習(30分) 事後学習 装具学レクチャー1,2の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	装具学総論 下肢装具の部品とその機能、継手					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	短下肢装具の特徴や種類、基本的な構造や機能について理解できる。			15レクチャーシリーズ装具学 配布資料	事前学習 装具学レクチャー3の予習(30分) 事後学習 装具学レクチャー3の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	短下肢装具					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	長下肢、股、膝装具、それぞれの特徴や対象疾患、種類、基本的な構造や機能について理解できる。			15レクチャーシリーズ装具学 配布資料	事前学習 装具学レクチャー4の予習(30分) 事後学習 装具学レクチャー4の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	長下肢装具、股装具、膝装具					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	靴型装具を用いた理学療法が出来るように、目的、基本的な構造や機能各種補正について理解できる。			15レクチャーシリーズ装具学 配布資料	事前学習 装具学レクチャー5の予習(30分) 事後学習 装具学レクチャー5の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	靴型装具、補正(靴内部と踵底)					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢装具の適合を評価するためにチェックアウト項目とその方法を理解できる			15レクチャーシリーズ装具学 配布資料	事前学習 装具学レクチャー6,7の予習(30分) 事後学習 装具学レクチャー6,7の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	下肢装具のチェックアウト					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹装具、側弯症装具それぞれの目的や対象疾患、基本的な構造や機能、種類について理解できる。	15レクチャーシリーズ装具学 配布資料	事前学習 装具学レクチャー8の予習(30分) 事後学習 装具学レクチャー8の復習(30分)
	各コマにおける授業予定		体幹装具、側弯症装具		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢装具の分類と目的、適応疾患、種類、基本的な構造や機能を理解できる。車椅子の種類と基本構造、チェックポイントについて理解する。歩行補助具の種類、選択、適合について理解する。	15レクチャーシリーズ装具学 配布資料	事前学習 装具学レクチャー9,10の予習(30分) 事後学習 装具学レクチャー9,10の復習(30分)
	各コマにおける授業予定		上肢装具と自助具、車椅子、歩行補助具		
第8回	演習実習形式	各コマにおける授業予定	脳卒中の症状と目的にあった装具が選択できるようになる。関節リウマチに用いられる装具の種類や機能を理解し、症状と目的にあった装具の適応と選択について理解できる。	15レクチャーシリーズ装具学 配布資料	事前学習 装具学レクチャー11,13の予習(30分) 事後学習 装具学レクチャー11,13復習(30分)
	各コマにおける授業予定		疾患別装具の処方(1)脳卒中片麻痺の装具 疾患別装具の処方(3)関節リウマチの装具		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	四肢切断の原因と切断術、術後管理術後のリハビリテーションの流れを理解できる。 早期義肢装着法の流れと義足のアライメント機構を理解できる。	15レクチャーシリーズ義肢学 配布資料	事前学習 シラバスを読む。 義肢学レクチャー1,2の予習(20分) 事後学習 義肢学レクチャー1,2の復習(40分)
	各コマにおける授業予定		切断と義肢の基礎知識 早期義肢装着法と義足適合の流れ。アライメントの概念		
第10回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	大腿義足、膝義足の部品、種類、機構、の違いを理解できる。 大腿義足、膝義足の各アライメントを理解できる。	15レクチャーシリーズ義肢学 配布資料	事前学習 義肢学レクチャー3,4の予習(30分) 事後学習 義肢学レクチャー3,4の復習(30分)
	各コマにおける授業予定		大腿切断、膝離断の基本と義足構造 大腿義足、膝義足のアライメント		
第11回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	下腿義足、サイム特徴と機構の違いを理解できる。 下腿義足、サイム義足アライメント、足継手の機能を理解できる。	15レクチャーシリーズ義肢学 配布資料	事前学習 義肢学レクチャー5,6の予習(30分) 事後学習 義肢学レクチャー5,6の復習(30分)
	各コマにおける授業予定		下腿切断、サイム切断の基本と義足構造 下腿義足、サイム義足のアライメント		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	股義足、片側骨盤切除用義足構造、特徴とアライメントを理解できる。 下肢切断の評価項目を理解し理学療法における問題点を抽出出来る。	15レクチャーシリーズ義肢学 配布資料	事前学習 義肢学レクチャー7,8の予習(30分) 事後学習 義肢学レクチャー7,8の復習(30分)
	各コマにおける授業予定		股離断、片側骨盤切除、足部切断の義足構造とアライメント 下肢切断の評価、問題点の抽出とその統合		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	義足装着理学療法の目的と内容、流れを理解する。立位バランス練習の重要性、歩行練習の進め方を理解する。起居動作練習、応用動作の方法を理解する。	15レクチャーシリーズ義肢学 配布資料	事前学習 義肢学レクチャー11の予習(30分) 事後学習 義肢学レクチャー11の復習(30分)
	各コマにおける授業予定		義足装着理学療法と応用動作		
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	義手の機能的分類と構造及び適合判定を理解できる。能動と筋電義手の身体能力と適応条件を理解できる。	15レクチャーシリーズ義肢学 配布資料	事前学習 義肢学レクチャー12の予習(30分) 事後学習 義肢学レクチャー12の復習(30分)
	各コマにおける授業予定		義手の分類と構造、機能		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	義肢の支給体系と理学療法士の役割を理解できる。 切断者の心理と行動を知る。	15レクチャーシリーズ義肢学 配布資料	事前学習 義肢学レクチャー14の予習(30分) 事後学習 義肢学レクチャー14の復習(30分)
	各コマにおける授業予定		義肢装具の支給体系とチームアプローチ 講義のまとめ		

2024 年度 授業計画(シラバス)								
学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名		義肢装具学		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間 (単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限		後期	教室名	普通教室他
担 当 教 員		専任教員	実務経験と その関連資格	理学療法士として、義肢装具士と連携し、対象者へ治療の展開をしていた				
《授業科目における学習内容》 骨関節疾患、脳神経などによる運動機能障害の症状を理解することにより、装具の選択・療法が出来るようになる。 疾患・障害に適応する義肢装具、歩行補助具の種類、部品、機能を学習する。 臨床における義肢装具の適合、チェックアウトの方法を学習する。 国家試験過去問題等の演習問題を通して、さらに知識を深める。								
《成績評価の方法と基準》 小テスト 50% フィールドワークにおける課題提出 50%								
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書：石川朗 「15レクチャーシリーズ装具学」「15レクチャーシリーズ義肢学」 中山書店。 必要な資料は配布する。								
《授業外における学習方法》 プロジェクター、パーソナルコンピューター、スクリーン、とサンプルを使用し、学習を行う。								
《履修に当たっての留意点》 事前学習と復習をすることで理解を深める。関連機関との連携授業もあるため、専門職人としての礼節ある言動をしましょう。								
授業の方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験過去問題等の演習問題を解くことや、その内容の理解ができる			配布資料	事前学習 シラバスを読む。 演習問題の予習(30分) 事後学習 解説作成等の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	下肢装具に関する演習問題の実施と問題解説作成①					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験過去問題等の演習問題を解くことや、その内容の理解ができる			配布資料	事前学習 作成した問題解説の予習 (30分) 事後学習 講義内容の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	下肢装具に関する演習問題の実施と問題解説作成②					
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験過去問題等の演習問題を解くことや、その内容の理解ができる			配布資料	事前学習 演習問題の予習(30分) 事後学習 解説作成等の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	靴型装具・体幹装具等に関する演習問題の実施と問題解説作成①					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験過去問題等の演習問題を解くことや、その内容の理解ができる			配布資料	事前学習 作成した問題解説の予習 (30分) 事後学習 講義内容の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	靴型装具・体幹装具等に関する演習問題の実施と問題解説作成②					
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験過去問題等の演習問題を解くことや、その内容の理解ができる			配布資料	事前学習 演習問題の予習(30分) 事後学習 解説作成等の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	下肢切断。下肢義足等に関する演習問題の実施と問題解説作成①					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験過去問題等の演習問題を解くことや、その内容の理解ができる	配布資料	事前学習 作成した問題解説の予習 (30分) 事後学習 講義内容の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	下肢切断。下肢義足等に関する演習問題の実施と問題解説作成②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験過去問題等の演習問題を解くことや、その内容の理解ができる	配布資料	事前学習 理学療法評価プロセスの予習 (30分) 事後学習 講義内容の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	上肢装具や自助具、代表的疾患別装具等に関する演習問題の実施と問題解説作成①		
第8回	講義演習形式	各コマにおける授業予定	国家試験過去問題等の演習問題を解くことや、その内容の理解ができる	配布資料	事前学習 演習問題の予習 (30分) 事後学習 解説作成等の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	上肢装具や自助具、代表的疾患別装具等に関する演習問題の実施と問題解説作成②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法士としての下肢装具の適合を評価するためにチェックアウト項目とその方法を理解できる	配布資料	事前学習 作成した問題解説の予習 (30分) 事後学習 講義内容の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	臨床理学療法士による、チェックアウトの実際①		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	理学療法士としての下肢装具の適合を評価するためにチェックアウト項目とその方法を理解できる	配布資料	事前学習 演習問題の予習 (30分) 事後学習 解説作成等の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	臨床理学療法士による、チェックアウトの実際②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	義肢装具製作所における、製作過程を学び知識を深める	配布資料	事前学習 作成した問題解説の予習 (30分) 事後学習 講義内容の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	義肢装具製作所の見学①		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	義肢装具製作所における、製作過程を学び知識を深める	配布資料	事前学習 演習問題の予習 (30分) 事後学習 解説作成等の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	義肢装具製作所の見学②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロボット技術に最先端に触れ、理学療法士と工学知識の関係性を理解する	配布資料	事前学習 作成した問題解説の予習 (30分) 事後学習 講義内容の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	ロボット技術工学と理学療法①		
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	ロボット技術に最先端に触れ、理学療法士と工学知識の関係性を理解する	配布資料	事前学習 義肢装具の種類等の予習 (30分) 事後学習 製作所見学の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	ロボット技術工学と理学療法②		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	ロボット技術に最先端に触れ、理学療法士と工学知識の関係性を理解する	配布資料	事前学習 義肢装具の種類等の予習 (30分) 事後学習 製作所見学の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	ロボット技術工学と理学療法③		